

# 議会だより

第55号

議会だよりは  
分かりやすい議会の入口！  
中に入ってニヤ！



## CONTENTS

	ページ
審議された議案等	2
討論・意見書	3
一般質問（6人が登壇）	5
常任委員会レポート	11
政務活動費報告	14
議会日程	16

第55号

発行日/平成29年8月1日

編集/かほく市議会広報特別委員会

ホームページ <http://www.city.kahoku.shikawa.jp>  
発行/石川県かほく市議会  
住所/石川県かほく市宇野気181番地

Eメール [gikai@city.kahoku.shikawa.jp](mailto:gikai@city.kahoku.shikawa.jp)  
076(283)7126 FAX076(283)7188

## 第3回定例会のお知らせ

8月29日 10:00~	・本会議（議案説明ほか） ・全員協議会 ・予算決算常任委員会
9月5日 10:00~	・本会議（一般質問）
9月7日 9:00~	・市民文教常任委員会 ・市民文教分科会
9月8日 9:00~	・総務建設常任委員会 ・総務建設分科会
9月12日 9:00~	・予算決算常任委員会
9月13日 9:00~	・市民文教分科会
9月14日 9:00~	・総務建設分科会
9月19日 13:30~	・予算決算常任委員会
9月22日 10:00~	・本会議（討論、採決ほか） ・全員協議会

日程は、都合により変更となる場合もあります。

議事を傍聴しませんか。  
本会議・常任委員会などを傍聴できます。  
どのような議論が交わされているのか  
ぜひ傍聴においでください。  
本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で  
受付順となります。



本会議はケーブルテレビ  
「かほくチャンネル」で  
生中継・録画を見ることが  
できます。

## 委員のひとり言

一昔前、人工知能やロボットの発展が人から仕事を奪う。という将来予想が話題になりました。しかし最近では、コンピューター・スマートフォン・ロボット・銀行のATM・レジのPOS端末等のICT・人工知能があらゆるところに活用され、便利な生活をサポートしてくれています。ただ、この技術を使用するのは人であり、これをどう使うか、人としての資質がますます問われる時代になったと思います。

心をより豊かにするために日頃からの鍛錬の大切さを感じる日々です。

（板谷 悦郎）

## 議会改革度調査2016 全国103位(県内2位)

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年発表する議会改革度調査において、都道府県及び市区町村1,788議会のうち回答のあった1,347議会中、かほく市議会は103位にランクされました。

調査は、議会が果たす役割として 情報共有、住民参加、議会機能強化を柱とし、それぞれの改革度合いを数値化してランキングが算出されました。

本市議会では、議会だよりやHPでの賛否結果の公表や政務活動費の収支報告の公表、議会情報の提供などを実施しています。

これからも「市民に開かれた議会」「市民に親しまれる身近な議会」を目指し、改革を進めます。

広報特別委員会では、議会活動を十分にお伝えできる、より良い「議会だより」を市民の皆さんにお届けできますよう、原稿作成、写真撮影、レイアウト・編集作業に取り組んでいます。

新しいメンバーとなり、この第55号が初めての発行となります。これからも一生懸命頑張りますので、ご愛読のほどよろしくお願いたします。



編集作業の様子

みんなで力をあわせて  
きれいな海岸に！

海浜一斉清掃：白尾海岸にて

議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

印刷コスト 1部 20円（発行部数 12,100部）

2017.8.1

16

# 平成29年 第2回 定例会

会期 / 6月12日 ~ 6月29日

## 審議された議案と審議結果

(市長提出議案)

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第35号	平成29年度かほく市一般会計補正予算(第1号)	予算決算	原案可決 (賛成多数)
議案第36号	平成29年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
議案第37号	石川縣市町村職員退職手当組合理約の変更について	総務建設	原案可決 (全会一致)
議案第38号	石川縣市町村消防賞じゅつ金組合理約の変更について		
議案第39号	市道の路線認定について		
議案第40号	市道の路線変更について		

議案及び審査の主な内容については、11ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

(市長提出議案(人事))

議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・遠藤他代美委員の任期満了に伴い、中本尚美氏を新たに推薦するもの。	6月12日	適任 (全会一致)
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・坂野俊紀委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの。		

(請願)

発議番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
請願第3号	「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める請願	総務建設	不採択 (賛成少数)

(議員提出議案)

発議番号	議案名等	上程議決日	議決結果
発議第4号	参議院議員選挙における合区解消と選挙制度の抜本的見直しを求める意見書について	6月29日	原案可決 (賛成多数)

## 議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)														
		塚本 佐和子	野田 稔彦	大西 潤	丸井 一範	板谷 悦郎	金子 猛	坂井 正朝	高橋 成典	安達 肇	杉本 正一	竹内 幹雄	杉本 成一	寺内 照雄	猪村 博靖	別宗 明敏
議案第35号	平成29年度かほく市一般会計補正予算(第1号)							×								
請願第3号	「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める請願	×	×	×	×	×			×	×	×	×			×	×
発議第4号	参議院議員選挙における合区解消と選挙制度の抜本的見直しを求める意見書について								×					退		

= 賛成 × = 反対 欠 = 欠席 退 = 退席 坂井正朝議員は議長職のため採決には加わりません。

## 討論

議案・請願に対して4氏が討論

高橋 成典

マイナンバー制度に反対

議案第35号でのマイナンバー

制度関連予算に反対する。

県内の自治体で、マイナンバーなどの個人情報漏えいに関する初歩的なミスが相次いでおり、個人情報管理が適切に管理されているか問われている。

マイナンバー制度は、世界各国で、国民の反対による中止、見直しに追い込まれており、日本はその流れに逆行している。

「テロ等準備罪」創設に反対  
請願第3号「テロ等準備罪」の創設に反対する意見書の提出を求める請願に賛成する。

犯罪名を「テロ等準備罪」に変えても、過去3回廃案になった「共謀罪」そのものである。

また、戦前、治安維持法によって、モノが言えない戦争国家がつくられていったことは歴史の事実である。同法は廃止すべき。

丸井 一範

全議案に賛成

補正予算の議案2件、補正予算以外の議案4件、合わせて6件の議案全てに賛成する。

補正予算については、各公園のトイレや遊具の改修、市営住宅の長寿命化にかかる経費のほか、第2子以降の利用料を軽減する学童保育や病児保育のための経費、また外日角小学校の長寿命化などの設計費などである。補正予算以外の議案についても、組合の構成団体の規約変更、ほ場整備に伴う市道路線の変更と必要不可欠なものである。

請願に反対

請願第3号に反対する。

内容は創設に反対の主旨であり、法律は既に可決されている。

寺内 照雄

「テロ等準備罪」創設に反対

請願第3号に賛成する。

安部政権は「テロ等準備罪」の新設を目指す根拠に「国際組

織犯罪防止条約」締結を掲げているが、国連の立法ガイドを執筆した、ニコス・パッサス氏は、同条約は、テロ防止が目的ではないと明確に述べている。国民は、何をしたら犯罪になるのかを正確に理解できていない状態であり、政府には改めて国民に説明責任を果たし、理解を得ることを求める。

板谷 悦郎

「テロ等準備罪」整備は必要  
請願第3号に反対する。

世界各国は、テロ等組織犯罪を未然に防止するため「国際組織犯罪防止条約」に加盟している。日本が加盟するには「テロ等準備罪」の整備が必要である。

適用対象は、継続性・反復性のある犯罪集団に限定され、市民団体や労働組合が対象とはならない。条約加盟国からの人権侵害に対する非難の声も心配はない。よって、提出に反対する。

討論の文章は、本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

## 意見書

参議院議員選挙における合区解消と選挙制度の抜本的見直しを求める意見書

昨年の夏、憲政史上初、都道府県域を超えた合区による選挙が実施された。

複数の都道府県をひとつの選挙区とする合区は、国会における地方選出議員の減少に直接つながり、地方と大都市圏との更なる格差拡大を招くことにもなる。

このままでは、地方創生の達成が危ぶまれるどころか、より地方の衰退に拍車がかかることになる。参議院議員の選挙制度は、各都道府県の特徴や現状を踏まえた上で制度設計されるべきものである。都道府県域を超えた合区を解消するとともに、それぞれ都道府県の代表が国政に参加することが可能な選挙制度を構築されるよう強く要望する。

提出議員 竹内 幹雄  
賛成議員 別宗 明敏

杉本 成一  
(全員賛成)

# 平成29年 第1回 臨時会

平成29年5月10日、第1回臨時会を開催し、議会組織を決め、市税条例の一部を改正する条例に係る専決処分など3議案について審議し、原案の通り可決した。  
また、同意案件1件についても原案の通り同意した。

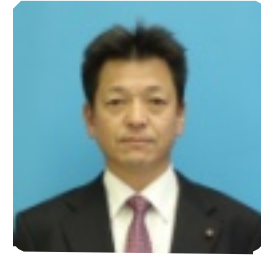
第10代正副議長決まる

議長に坂井氏、副議長に金子氏



議長  
さかい まさゆき  
坂井 正毅  
高松 当選4回

皆様方の温かいご支援により、栄えある第10代議長に就任させて頂きました。その責任の重さに身の引き締まる思いであります。将来にわたって、更なる住みよさの充実や地域の発展のため、そして議会の活性化に向け、粉砕身努力してまいります。今後とも、市民の皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
かねこ たけし  
金子 猛  
白尾 当選3回

かほく市議会副議長就任にあたり、その責務の重大さを痛感しているところでございます。浅学非才な身ではございますが、坂井議長を補佐し、市民から信頼されるかほく市議会を目指すべく、誠心誠意努めていく所存でございます。これからも、ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 新たな議会組織決まる

- 総務建設常任委員会(7人)
  - 委員長 安達 肇
  - 副委員長 板谷 悦郎
  - 委員 杉本 成一
  - 杉本 正一
  - 高橋 成典
  - 金子 猛
  - 大西 潤
- 市民文教常任委員会(7人)
  - 委員長 竹内 幹雄
  - 副委員長 丸井 一範
  - 委員 別宗 明敏
  - 猪村 博靖
  - 寺内 照雄
  - 野田 稔彦
  - 塚本佐和子
- 予算決算常任委員会(14人)
  - 委員長 猪村 博靖
  - 副委員長 杉本 正一
  - 委員 別宗 明敏
  - 寺内 照雄
  - 杉本 成一
  - 竹内 幹雄
  - 安達 肇
  - 高橋 成典
  - 金子 猛
  - 板谷 悦郎
  - 丸井 一範
  - 大西 潤
  - 野田 稔彦
  - 塚本佐和子
- 議会運営委員会(6人)
  - 委員長 杉本 成一
  - 副委員長 杉本 正一
  - 委員 猪村 博靖
  - 竹内 幹雄
  - 安達 肇
  - 板谷 悦郎
- 広域特別委員会(7人)
  - 委員長 板谷 悦郎
  - 副委員長 杉本 正一
  - 委員 金子 猛
  - 丸井 一範
  - 大西 潤
  - 野田 稔彦
  - 塚本佐和子
- 石川県後期高齢者医療広域連合議会議員
  - 坂井 正毅
- 石川県議会議員
  - 別宗 明敏

## 一般質問



大西 潤

Q 市の住民基本台帳の人口が、平成27年度末及び平成28年度末の2年連続で、前年度と比較して増加となった。

人口が増えることよって、市税という形で市の財源が増えるとともに、さらに地方交付税では、人口減少対策に取り組み成果をあげた自治体には上乗せがあるのでは。

人口増に伴う市税の増収分や地方交付税を活用した今後のまちづくりを問う。

A 油野市長 平成28年3月末には7年ぶりに12人の増、平成29年3月末ではさらに88人の増となり、2年連続で人口が増加した。

人口減少対策への取り組みに

### 質問 1

人口増に伴う税を活用したまちづくりを問う  
必要な事業を必要な時期に展開する

成果があつた自治体には今年度から普通交付税を段階的に多く配分される。

これまでの施策を基本とし、市民ニーズを的確に捉えて必要な事業を必要な時期に展開し、住みよいまち、住みたくなるまち、そして選んでもらえるまちかほく市を目指していく。

#### 質問 2

減反廃止に伴う

水田農業の影響は

農業活性化協議会

で調整していく

Q 平成30年から廃止される米の生産調整いわゆる減反が、市の水田農業にどのような影響を及ぼすのか、また、その対策は  
A 瀬戸産業建設部長 国が発表する米の需給見通しなどの情報

や自らが販売することが可能と考える生産数量を検討し、需要に応じた米及び麦・大豆・飼料用米の生産を推進していく。

#### 質問 3

学校における

食育の取り組みは

学校、地域、家庭と

連携して取り組む

Q 学校における市の特色を生かした食育の取り組みと安全な食材の提供としての地産地消、学校給食を通じた食育の取り組みを問う。

A 山越教育長 かほっくりの定植体験、紋平柿の収穫や脱澱体験、大海みその仕込体験などを実施し、生産者との交流を通じて、地域を理解することや、自然の恵み、勤労の大切さなど

と合わせて食に関する指導をしている。地産地消ということでは、主食については、小中学校とも週3回の米飯を提供しており、すべて地元産米の1等米を使用している。米以外の地元産食材の調達も、できる限りかほく市産県内産を食材として使用することとしている。



かほっくりの定植体験

## 審議された議案と審議結果

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第32号	専決処分の承認を求めることについて (かほく市税条例の一部を改正する条例について)		原案承認 (全会一致)
議案第33号	専決処分の承認を求めることについて (かほく市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について)		
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて (かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)		
議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
同意第3号	かほく市監査委員の選任につき同意を求めることについて ・議会議員のうちから選任すべき監査委員として、別宗明敏氏を選任するもの	5月10日	原案同意 (全会一致)

# 一般質問

**Q** 市内3ヶ所の老人福祉センターなどに入浴施設があるが、市民が毎日入れる入浴施設をつくって欲しいとの声が寄せられている。

県内には、有料で内灘町のほのほの湯、津幡町のウエルピア倉見、宝達志水町の古墳の湯、羽咋市のユーフォリアなどさまざまな施設がある。

市も市民が集える入浴施設を建設すべきではないか。

**A** 板坂総務部長 合併後のアンケートでも、入浴温浴施設を希望する要望が多いことは十分に理解している。

公共、行政ではなくて民間活力を導入した入浴施設の誘致を今後、積極的に取り組んでいく。



高橋 成典

# 一般質問

**Q** 地域ぐるみで消防団を応援してもらうため、消防団員を対象に割引などのサービスを提供する「消防団応援の店」を募集し、団員の福利厚生を充実させるとともに、団員の加入促進、さらには地域防災力の向上にもつなげるねらいがある。

日本消防協会が全国の登録店舗をまとめるサイトを運営しており、全国消防団応援の店として情報の提供をしている。

全国で1337の店舗が登録されている。

団員のさらなる応援のため市でも導入すべきと思うが、市の考えは。

**A** 油野市長 全国的に消防団員数が減少傾向にある中、市の消



板谷 悦郎

## 質問 1

市民が集える入浴施設の建設を  
民間活力を導入して誘致に取り組む

### 質問 2

国保の県一本化で、

さらに保険料が上がる

申し入れている

**Q** 来年度から、都道府県が国保の「保険者」となり、市町村の国保行政を統括・監督する仕組みが導入される。

広島県では国保の県一本化で最大で26%の負担増、県平均でも8・83%の国保税の値上げとなり、県内23市町村の中で負担増が21市町村で、下がるのは2町村だけ。

一番の問題は、市町村の国保税高騰の最大の原因は、国が市町村国保に対する国庫負担金を57・5%から24・7%に大幅に引き下げたことである。

## 質問 1

「消防団応援の店」募集導入の取り組みは  
商工会と十分に協議し、検討する

防団員数は6月1日現在170名であり、定員の190名に達していない。

団員の確保は、市として大変重要な課題と捉えており、広報かほくで5月号から「火消し魂」という連載コーナーを設け、市民に消防団活動の理解を求め、団員確保に積極的に取り組んでいる。



河北都市消防団連合訓練

この事業を進めるためには事業所や店舗の協力が必要であり、商工会と十分に協議し、検討を進めたい。

### 質問 2

避難場所での

お湯等の確保について

今後の検討課題である

**Q** 東日本大震災の経験から生まれた災害対応型紙カップ式自販機は、災害発生後、電気、水道が確保されれば災害時に、お湯が無料で提供できるため、赤ちゃんの粉ミルクの調乳やアルファ米の調理等において大きなメリットがあると言われている。

市においても災害時に避難所や病院等にお湯等飲料を提供できる「災害対応型紙カップ式自販機」の設置及び災害協定の締

結を検討すべきではないか。

**A** 森田市民部長 紙カップ式自販販売機は通常の販売機と比べ高価であり、無償で常設するには年間を通して一日50杯以上の販売がないと設置できない。

避難所に指定している施設での設置は難しい状況にある。

拠点避難所である小中学校では、既に家庭室が備えられているため、プロパンガスでお湯をわかすことが可能である。

全てのライフラインが途絶えても、非常用発電機等を利用してお湯をわかすことも可能である。

しかしながら、市として災害対応型紙カップ式自動販売機の設置は、今後の検討課題であると考えている。

国保税をこれ以上値上げすれば、さらに払えない住民が増え、社会保障にも逆行していく。

市は、国保税の引き上げに反対し、払える国保税にするため国・県に強く働きかけるべきではないか。

**A** 油野市長 平成30年度からの実施に向け、全国市長会からも国民健康保険制度などに関する提言として、国に国費投入の確実な継続実施を申し入れをしている。国の動向を見守りながら、適時適切な対応をしていく。

### 質問 3

七塚地域でスクール

バスや自転車通学を

保護者を含めて議論を

**Q** 七塚地域の一部の方々からスクールバスや自転車通学の要

望の声が上がっている。こうした要望に応えて実施できないか。

**A** 山越教育長 スクールバス運行は、合併前から高松、宇ノ気地区の一部で運行されており、合併時には、原則集落単位として、学校から半径2キロメートル以上の地区とする決定がある。

河北台中学校では、自転車通学の危険性、体力面や不便などを我慢する心の教育という面での教育的効果を重んじる地域住民の思いが受け継がれている。

自転車通学は、教育委員会が決定するのではなく、あくまで学校の校則となる。

まずは、河北台中学校の学校運営協議会やPTAと学校、保護者を含めた地域全体での議論を見守っていききたい。

# 一般質問



丸井 一 範

Q 先般、私の地元で空き家問題が発生した。その時は、市の迅速な対応により解決したが、空き家の把握、今後の取り組みについて問う。

A 森田市民部長 市では、平成29年度から5ヶ年計画で空き家等に対する対策に取り組んでおり、547件の調査を行っている。

その中で、最も危険度の高いD判定が39件、C判定が99件、B判定は139件、A判定は261件となっている。

今後も情報収集に努めると共に、危険な空き家に対しては除却、老朽度の低いものについては、再活用を促していく。

Q 危険度の高い空き家について

## 質問 1

### 空き家の現状と今後について

### 平成29年度より、5ヶ年計画で取り組む

では、行政が積極的に介入すべきではないか。

A 市民部長 危険度の高いD判定の空き家については、今後立ち入り調査を行う予定。特定空き家の認定については、立ち入り調査をもとに、かほく市空き家等対策審議会に諮り判断する。

#### 質問 2

防犯灯、街路灯などの設置を推進せよ

#### 関係機関と連携し

#### 防犯対策に取り組む

Q 防犯灯、街路灯の設置を望む声を多く聞く。また、犯罪の抑止、解決の手がかりとして、防犯カメラも非常に有用だと聞く。市内の現状はどうか。

A 市民部長 防犯灯、街路灯は平成22年度5151基あったも



LED防犯灯（宇気地内）

のが、現在5798基。今後も防犯上危険な場所の設置について検討していく。

防犯カメラについては、平成27年度1件、平成28年度5件の設置となっており、今年度から防犯カメラの補助事業について、補助限度額もアップした。

また、一般社団法人安全・安心まちづくりICT機構と協定

を締結しており、この制度を利用し駅や体育館にもカメラを設置している。

#### 質問 3

鍼灸按摩マッサージの助成券を発行しては

利用実態の把握に努め、

対応を検討する

Q 金沢、白山、小松、輪島市などでは、高齢者の健康保持、在宅生活の増進を目的として、鍼灸按摩マッサージの助成券を発行している。市でも取り組んではどうか。

A 油野市長 平成28年度には、り・きゆう・マッサージの利用者で保険給付が適用されたのは16人であり、非常に少ない。今後、利用実態や近隣の市町の状況などを確認し検討したい。

# 一般質問



塚本 佐和子

Q 熊本地震で、ペットと一緒に車上生活をしていた方が、エコノミークラス症候群で亡くなられたという悲劇は皆さんもご存じかと思う。

そうした経験を踏まえ、災害時においてペットと同伴避難する際の、ペットの屋内避難所指定について問う。

A 森田市民部長 拠点避難所として指定されている市内9校の小中学校それぞれの施設配置などを勘案し、今後改正予定の環境省のガイドラインをもとに、屋内でのペット避難場所の設置について検討を進めていく。

また、災害に備えたペット用の備蓄品の確保、避難所でのペットの世話、飼育場所の管理など

## 質問 1

### 災害時のペット屋内避難所設置について問う

### 環境省のガイドラインに基づき設置を検討する

は飼い主の責任となることから、ペット防災指導員等の協力を得ながら、飼い主へ周知していく。ペットとの同行避難が困難なケースも考えられることから、石川県獣医師会や保健所と連携を図りながら、災害時のペットに対する救護対策を進めていく。

#### 質問 2

歩行者の安全確保のため

グリーンベルト整備を

県と連携を図り取り組む

Q 七塚中央公園、中央図書館を利用する子どもをはじめ、多くの市民が通行する県道162号線の歩道に、グリーンベルトを設けてはどうか。

A 油野市長 県道162号線、いわゆる県道高松内灘線は、市の南北を縦断し、地域を連絡する重要な路線であるとともに、遠塚地内には利用者の多い七塚中央公園、中央図書館などの公共施設が立地し、これらの施設を利用する方や七塚小学校、河北台中学校へ通学する児童生徒が通行する路線である。



グリーンベルト

市道の路線認定及び路線変更  
 気屋地区におけるほ場整備事業  
 の区画整理に伴い、市道気屋  
 1号線の一部区間の廃止による  
 終点の変更と、残り区間を市道  
 気屋6号線として新たに認定す  
 るもの。

**おもな審査内容**  
 (所管事項含む)  
 石川県市町村職員退職手当組  
 合規約及び石川県市町村消防賞  
 じゅつ金組合規約の変更  
 構成団体となっている、能美  
 広域事務組合が本年3月31日付  
 けで解散したことにより、関係  
 する二つの組合規約において所  
 要の改正を行うもの。

ほ場整備事業に伴い市道の路線変更

総務  
 建設  
 常任  
 委員会



ほ場整備事業が進む市道気屋1号線付近

総務建設常任委員会

- 委員長 安達 肇
- 副委員長 板谷 悦一郎
- 委員 杉本 成一
- 杉本 成一
- 高橋 成典
- 金子 潤
- 大西 潤

一般質問



寺内 照雄

質問 1

集中豪雨に対策・備えは万全か

減災への対応が着実に進んでいる

**Q** 降雪量の減少、5・6月の夏日の観測。異常気象による集中豪雨が危惧されるが、備えは万全か。

**A** 油野市長 25年の集中豪雨以降、七窪地区に調整池を整備し、排水ポンプを毎分5トンから30トンに強化。森地区、木津地区の排水ポンプも強化した。

また、雨量観測システムを導入し、市内4ヶ所の観測地点を増設し、迅速な対応が出来る体制を整え、引き続き防災減災対策を推進する。

**Q** 土砂入り土のうの確保は。土のうの運搬車両の確保は。土のうの破損点検状況は。

**A** 瀬戸産業建設部長 横山・夏栗防災倉庫、宇ノ気陸橋下倉庫で合計845袋を保有。公用車として、1トン車が1台、2トン車が1台、その他建設業組合と連携する。点検は各施設を利用するたびに行っている。また、男性職員の研修により、土のう作成や詰め替えも行っている。

**Q** 29年度以降の2級河川の堆積土砂上げ計画を示せ。

**A** 産業建設部長 29年度における津幡土木事務所管内の堆積土砂上げの予算計上はされていない。予算確保を強く要望する。

**Q** 上田名学校橋の改修計画は。産業建設部長 29年11月頃着手、30年の5月頃完成見込み。

**Q** 上田名橋、学校橋の架け替えで、河川流下能力は毎秒30トンから50トンになるのか。

質問 2

質問 3

**A** 産業建設部長 2つの橋の架け替えと川底の整備及び護岸のかさ上げで川の断面を大きくすることで達成できる。

**Q** 上田名橋下流から学校橋までの川底の整備、コンクリート打ち、護岸のかさ上げの時期を明確にせよ。

**A** 産業建設部長 県は30年度予算確保に向け準備を進めている。

有機械による対応と、町会長、区長、見守り隊の協力を得て凍結防止剤の支給箇所を増やしたい。

**Q** 藤が丘公園のトイレ改修について問う  
 できるだけ早い時期に改修する

**Q** グラウンド・ゴルフで藤が丘公園を利用する高齢者から、トイレの和便器が使いづらいつの声を聞く。トイレ改修について聞く。

**A** 板坂総務部長 利用状況から改修が必要なトイレと位置づけられている。できるだけ早く要望に応えられるよう努力する。

質問 2

冬期における  
 道路凍結防止策を問う  
 凍結防止剤の  
 支給箇所を増やす

**Q** 市道主要路線の冬期における凍結防止剤及び溶融剤の散布の範囲拡大を問う。

**A** 産業建設部長 これまで同様、県に散布を依頼するほか、市保

議会と意見交換  
 してみませんか

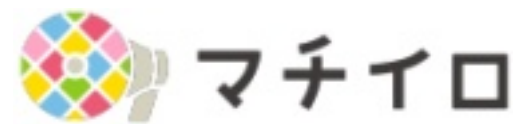
議会では、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換することによって、市政の更なる発展、議会の活性化を目指し、議会報告会を開催しています。

議会との意見交換をご希望される団体等、お気軽にご連絡下さい。



【問い合わせ先】  
 かほく市議会事務局  
 電話 283 7126

「議会だより」をスマホで読む!



- ・アプリから、いつでも・どこでも「広報かほく」と「議会だより」を閲覧できます。
- ・最新号が発行されると、アプリにお知らせが届きます。
- ・ページめくり、拡大縮小なども簡単にできます。
- ・スクラップ機能として、範囲を指定して画像を保存することができます。保存した記事はメールへの添付やSNSなどでのシェアができます。
- ・かほく市ホームページの最新情報が確認できます。ぜひご利用ください!

ダウンロードページには左記の二次元バーコードからアクセスできます。



予算  
決算  
常任  
委員会

議会定例会初日の6月12日に説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、6月27日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

総務建設分科会

6月22日開催

おもな質疑

**高橋委員**  
マイナンバー関係で、これまでの予算の状況は。  
**山口企画情報課長**  
平成28年度末までに、国からの歳入は約5500万円、歳出は約1億6600万円である。  
**杉本成一委員**  
今後の公債などによる運用方針は。

中田財政課長

これまででは、主に大阪府公債、東日本高速道路社債で運用してきたが、今年度からはより有利な利率で運用できるものを別の公債、社債でも求めていきたい。

杉本成一委員

七窪地内の水門2基の改修工事の事業主体は。  
**上野産業振興課長**

県が事業主体となる予定であり、一部市の負担もあると聞いている。

安達分科会長

同じく、水門2基の所有者及び管理者は。  
**北川産業振興課長補佐**

市が所有、管理している。  
**板谷分科副会長**

老朽化ため池の整備状況は。

総務建設分科会

市内公園の遊具・トイレを整備

市民文教分科会

外日角小改修 実施設計に着手

産業振興課長

市内にため池が大小46箇所ある中、まだ少ない整備状況ではあるが、地元負担も必要となることから、今後要望に応じて計画的に県と協議していきたい。

利用状況を考慮した場所に設置する。

**大西委員**  
高松運動公園で整備する大型遊具の設置場所と選定方法は。  
**山森都市建設課長**

年長児から小学校低学年を対象とするものを選定し、公園の



弁天池（長柄町地内）

総務建設分科会 審査案件

<p>平成29年度かほく市一般会計補正予算（第1号）</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治振興補助金（指江公園遊具）</li> <li>・社会保障・税番号システム改修費</li> <li>・歩道除雪機購入費</li> <li>・公園維持管理事業（遊具、トイレ改修等）</li> <li>・高松団地長寿命化改修工事</li> <li>・担い手育成基盤整備事業負担金（県営ほ場整備事業）</li> </ul>
--

市民文教分科会

6月23日開催

おもな質疑

**丸井委員**  
子育てワンストップサービスにおけるセキュリティ対策は。  
**千田子育て支援課長**

一般のインターネットと分離された行政ネットワーク（LGWAN）を利用するため、外部からの接続ができない仕組みとなっており、セキュリティは確保されている。

**別宗委員**

災害対策備品とは、どのようなものを、どこに配備するのか。  
**池田防災環境対策課長**  
LED投光機、スーパーマガホンを購入し、拠点避難所となっている小中学校に配備する。

猪村委員

外日角小学校の整備において、障害者用駐車スペースの位置、学童保育クラブの更衣室の配置について配慮は。  
**虎谷教育部長**

実施設計において、十分配慮する。

野田委員

空家等対策補助金の申請状況は。  
**防災環境対策課長**

現在申請は2件、相談は60数件受けている。  
**塚本委員**

特別支援教育支援員の配置状況は。  
**教育部長**

支援員の人数は15人であり、県内の状況からみても多く配置している。

各学校への配置については、毎年の各学校の状況に応じて対応している。

竹内分科会長

中学校の部活動で、練習試合などで移動する際の交通手段について、明確なルールはあるか。  
**笹山学校教育課長**

公式の大会については、貸切バスの全額を補助し、それ以外は市のマイクロバスで各学校200時間の割り当てがある。保護者の車の使用状況なども踏まえ、現状と課題を整理し、今後の対応について考えていく。

予算決算常任委員会

委員長 猪村 博靖  
副委員長 杉本 正一  
委員 議長を除く12名



外日角小学校完成予想図

市民文教分科会 審査案件

<p>平成29年度かほく市一般会計補正予算（第1号）</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家等対策補助金</li> <li>・災害対策備品購入（スーパーマガホン等）</li> <li>・子育てワンストップサービス</li> <li>・子ども子育て支援事業</li> <li>・外日角小学校長寿命化実施設計</li> </ul>	<p>平成29年度かほく市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料返還に伴う還付金及び還付加算金を計上</li> </ul>
--	--

# 政務活動費とは 政務活動費の収支を公開します

政務活動費とは  
地方自治法第100条の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

本市では、「かほく市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議会の活性化や議員個々の政策形成能力、法制能力、調査能力等の向上、市政に関する調査研究活動基盤の充実を図るため、議員に対して、年24万円（月額2万円）を交付しています。

政務活動費を充てることができる経費の範囲  
下記の表で定める政務活動に要する経費に充てることができます。

項目	内容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

使途基準  
本市議会では、政務活動費の使途基準を定め明確化するとともに、領収書等の証拠書類を添えた収支報告書の提出を義務づけるなど、透明性の高い運用をしています。

収支報告書  
政務活動費の収支報告書は、次年度の4月30日までに、領収書又はこれに準ずる書類を添付して、議長に提出しなければなりません。

議員氏名	平成28年度 交付決定額	支出総額	支出内訳						返還額
			調査 研究費	研修費	広報費	要請・陳情 活動費	資料 作成費	資料 購入費	
丸井 一範	240,000	139,365		62,360				77,005	100,635
板谷 悦郎	240,000	241,940	34,722	63,376	1,000	45,170	44,721	52,951	0
金子 猛	240,000	212,412	36,300	91,372		45,500	2,268	36,972	27,588
坂井 正朝	240,000	165,086		60,160		45,310		59,616	74,914
多々見邦次	240,000	146,530	29,160	8,000			31,046	78,324	93,470
高橋 成典	240,000	286,126			230,662		12,392	43,072	0
安達 肇	240,000	252,228		88,372		50,360		113,496	0
多々見 武	240,000	187,858		10,000		43,930	36,812	97,116	52,142
金田 正信	240,000	205,632	31,272	64,208		13,420		96,732	34,368
杉本 正一	240,000	259,115		103,686		45,800	2,457	107,172	0
竹内 幹雄	240,000	180,652		63,808		45,900		70,944	59,348
杉本 成一	240,000	244,164	56,240	13,000		97,060		77,864	0
寺内 照雄	240,000	107,858		58,700			2,310	46,848	132,142
猪村 博靖	240,000	299,585	58,922	13,000		101,600	18,891	107,172	0
別宗 明敏	240,000	218,166		85,172		44,770	17,280	70,944	21,834

各議員が参加した研修会の内容や資料として購入した書籍名など、支出の詳細を記載した「政務活動報告書」を、市のホームページで公開しています。

## 予算決算常任委員会研修 「決算議会と予算審議に備えた論点整理と議論の切り口」

7月3日、明治大学公共政策大学院教授 兼村高文氏を招いて研修会を開催し、今後迎える決算議会と平成30年度予算審議に備えた論点整理と議論の切り口などについて受講した。

決算議会に際して押さえておくべき点として、まず財政の現状を指標（財政規模、収支状況、財政構造弾力性、自主性、健全化判断比率、公営企業の状態、類似団体比較など）で確認し、財政の身の丈を把握し現状と課題を確認しておくことが大切である。

また、予算審議で論ずべきポイントとして、  
予算執行状況の把握  
戦略性、合理性、優先順位などを事前にチェック  
住民ニーズの把握  
財政の身の丈を知っておく



以上のことが挙げられた。議会として、しっかりと市民ニーズを把握し、決算審査、予算審査では、執行部に対して的確な意見や提案ができるよう、これまで以上に十分な態勢で臨まなければならないと強く感じた研修であった。

## 全国市議会議長会から永年勤続表彰を受ける

全国市議会議長会総会（5月24日）及び北信越市議会議長会総会（4月20日）において、別宗明敏議員が20年、杉本正一議員が15年の永年勤続表彰を受けました。

また、全国市議会議長会の役員としての功績により、杉本正一議員に全国市議会議長会から感謝状が贈呈されました。  
6月12日の定例会本会議の席上、坂井正朝議長から表彰状並びに感謝状の伝達を行いました。



杉本正一議員



別宗明敏議員